業務内容書

業 務 名：令和８年度那覇市ＬＲＴ導入に伴う交通影響把握調査業務
履行場所：那覇市全域
履行期間：契約締結日から令和９年３月 31 日まで

業務目的

那覇市では、総合計画に掲げる「誰もが移動しやすいまちをつくる」の施策推進に向け交通基本計画等を策定し、これら上位計画に基づき「那覇市ＬＲＴ整備計画素案」を作成し、関係機関との協議を重ねている。

ＬＲＴ整備においては、導入に伴う交通影響が想定されることから、導入ルートにおける交通影響調査を進めている。

本業務では、ＬＲＴ導入に伴い、ルートに並行する道路の交差点に及ぼす影響を把握し、影響に対する対策を検討することを目的とする。

業務対象範囲

対 象 範 囲 ：県道 82 号、国道 507 号
対象交差点：12 箇所（図_ミクロシミュレーション対象交差点）
（県道 82 号：新川、芸大入口、崎山、赤田、鳥堀、儀保、市立病院　計７箇所）
（国道 507 号：上間、国場、真玉橋(北)、古波蔵(東)、古波蔵　計５箇所）
対象時間帯：
県道 82 号　朝ピーク時間帯（７時～10 時）
国道 507 号　朝ピーク時間帯、夕ピーク時間帯（７時～10 時、16 時～19 時）
※対象交差点については、調査実施前に調査職員と協議の上決定すること。
なお、協議により対象交差点が変更となる場合は設計変更の対象とする。

１．交通シミュレーション

１．１　現況再現モデルの構築及び現況再現性の確認

・シミュレーションモデルの構築に必要な**別紙**のデータを収集・整理し、道路ネットワークを構築する。
・導入ルートに並行する道路のシミュレーションモデルを作成し、現況再現性の検証を行う。
・実測の渋滞長等との乖離が一定の許容範囲内に収まるようモデルを検証・適合させる。

１．２　並行路線における交通シミュレーションの実施

・シミュレーションを実施するにあたり、下記ケースを設定する。

・各ケースにおける対象範囲の交差点シミュレーションを実施し、下記指標案を交差点別・方向別・ネットワーク全体で算出する。

【設定ケース】

ケース	交差点	時間帯	LRT 導入	交通量	道路構造
ケース１ （現況）	県道 82 号	朝ピーク	なし	現況	現況
	国道 507 号	朝ピーク 夕ピーク			
ケース２ （東西ルート）	県道 82 号	朝ピーク	あり	将来	素案
	国道 507 号	朝ピーク 夕ピーク			
ケース３ （対策あり）	県道 82 号	朝ピーク	あり	将来	対策あり
	国道 507 号	朝ピーク 夕ピーク			

【指標案】

・平均速度、渋滞長、停止回数、通過時間等

２．課題対応策の検討

・上記１．２による実施結果を踏まえ、課題を整理するとともに、各ケースの指標を比較し、対応施策による交通影響および対策案の有効性を定量的かつ図表を用いて視覚的にわかりやすく評価する。

３．関係機関協議資料の作成

・上記２の検討結果を踏まえて、道路・交通管理者等との協議資料を作成する。

４．報告書の作成

・上記検討結果等をとりまとめた報告書を作成する。

５．打合せ協議

・発注者と受注者の打ち合わせ協議は、着手時、中間（定例会議）、成果品納入時の計５回とする。

別　紙

表_主な収集データ

区分	主なデータ項目	備考
道路構造	車線数、線形、車線構成（道路台帳から把握）	発注者から提供
交差点交通量	交差点方向別、車種別交通量、断面交通量、渋滞長	発注者から提供
信号制御	サイクル、現示パターン	発注者から提供

※その他必要に応じて受注者にて収集する。

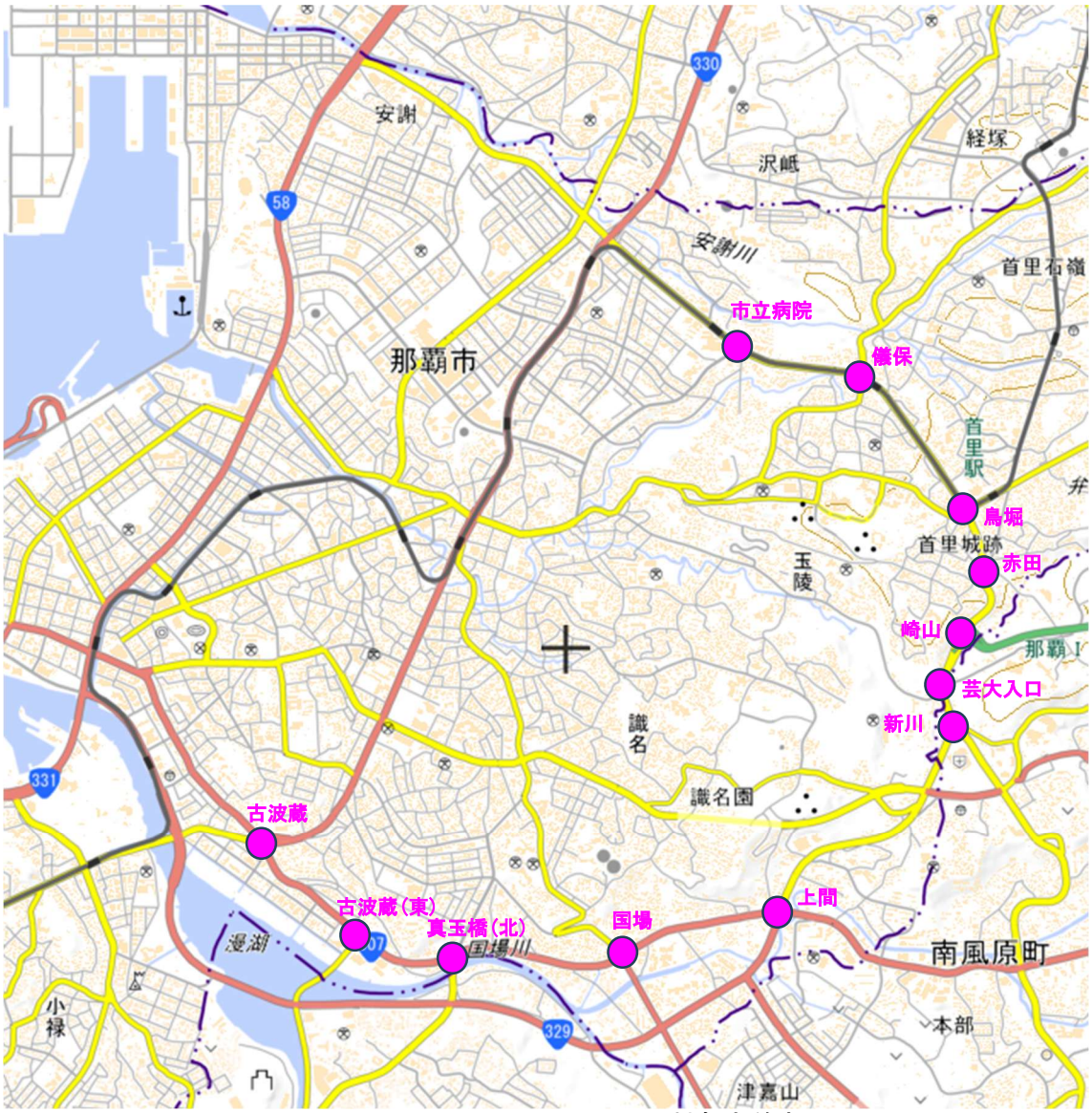


図　ミクロシミュレーション対象交差点

県道 87 号　：新川、芸大入口、崎山、赤田、鳥堀、儀保、市立病院　計 7 箇所

国道 507 号：上間、国場、真玉橋(北)、古波蔵(東)　計 5 箇所